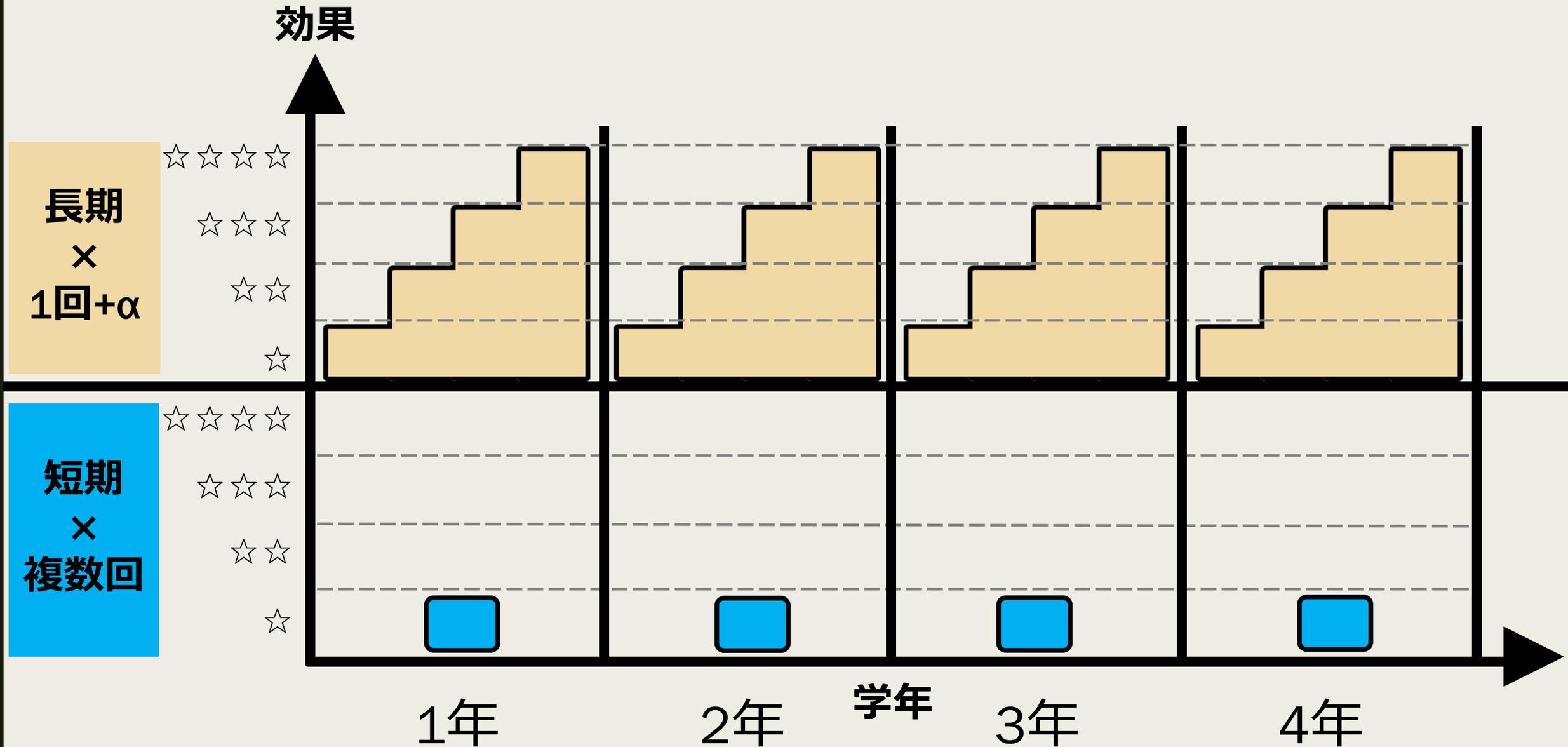


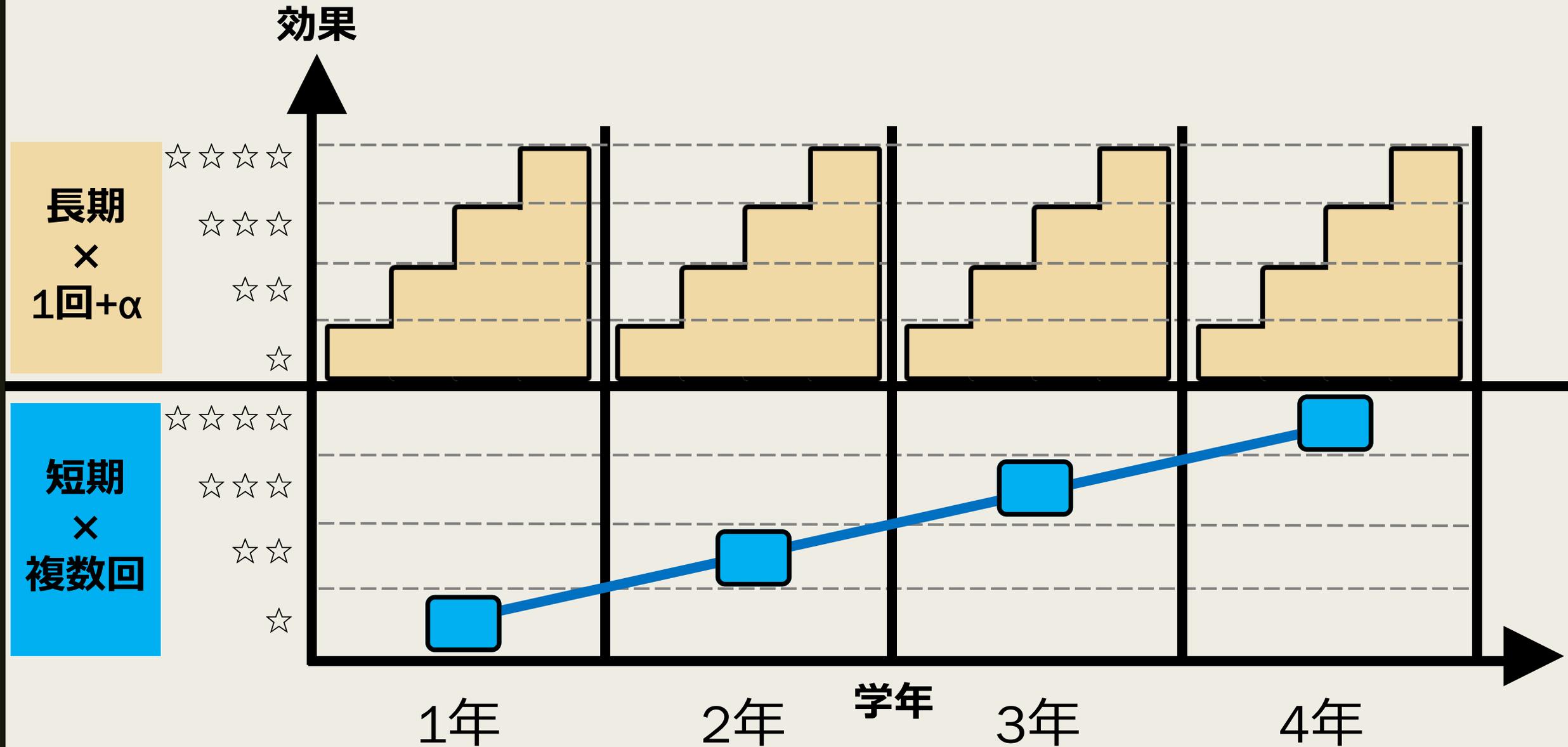
# 北海道情報大学における 学生の国際交流推奨モデル

小田島敬太、穴田有一

# 1. 大学4年間での留学スタイル



# 1. 大学4年間での留学スタイル



## 2. 本学の短期留学プログラム

### ■ 5つの短期留学プログラム

① **大連短期留学** [派遣/中国・大連/2週間]

目的：初級中国語会話、中国文化体験 ※留学中は全て日本語でのサポート有

② **マレーシア短期留学** [派遣/マレーシア・クアラルンプール/9日間]

目的：初級～中級英会話、マレーシア文化体験、海外への興味促進

③ **海外事情（アメリカ編）** [派遣/アメリカ・ポートランド/3週間]

目的：中級英会話、アメリカ文化体験

④ **海外事情（中国編）** [派遣/中国・南京/3週間]

目的：中級中国語会話、中国文化体験

⑤ **国際コラボレーション** [派遣&受入/タイ・バンコク/8日間@日本+8日間@タイ]

目的：実践英会話、海外学生との共同作品制作体験

# 2. 本学の短期留学プログラム

## ① 大連短期留学



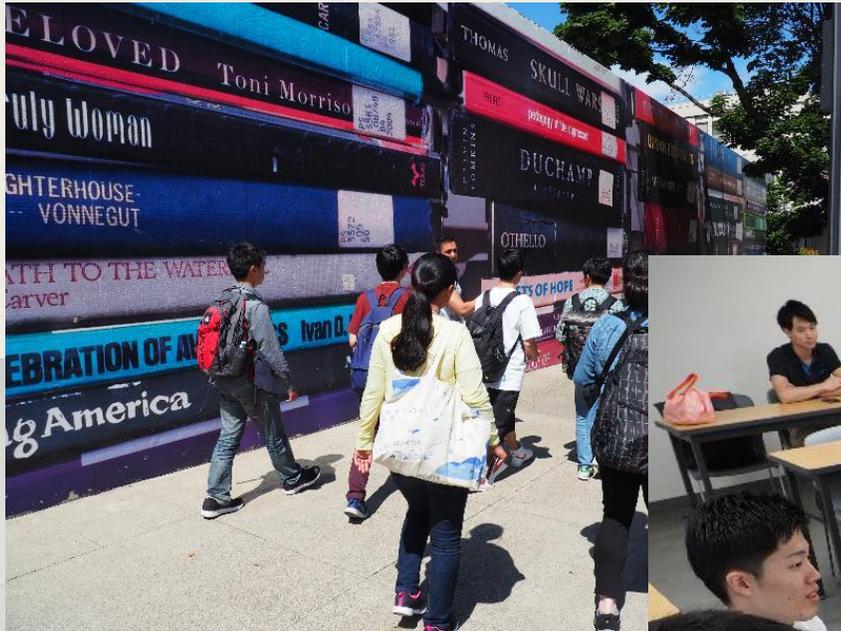
# 2. 本学の短期留学プログラム

## ② マレーシア短期留学



# 2. 本学の短期留学プログラム

## ③ 海外事情（アメリカ編）



# 2. 本学の短期留学プログラム

## ④ 海外事情（中国編）



# 2. 本学の短期留学プログラム

## ⑤ 国際コラボレーション



# 3. グローバル人材とは

日本国政府のグローバル人材育成戦略（注1）によると、グローバル人材とは、次の3要素を備えた人材と定義されている。

（注1）首相官邸政策会議：グローバル人材育成戦略（グローバル人材育成推進会議 審議まとめ）（平成24年6月4日）：<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf>

**要素I**： 語学力・コミュニケーション能力

**要素II**： 主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

**要素III**： 異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

# 4. 本学のディプロマポリシーと グローバル人材要素

## ＜本学のディプロマポリシー＞

(ア) 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力	(イ) IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
(ウ) 国際感覚やモラルなどの豊かな人間性	(エ) コミュニケーションとプレゼンテーション能力
(オ) 自身で工夫できる問題発見・解決能力 (記載簡略)	(カ) 知識のみではなく生きるための知恵

## ＜ディプロマポリシーとグローバル人材要素との関連＞

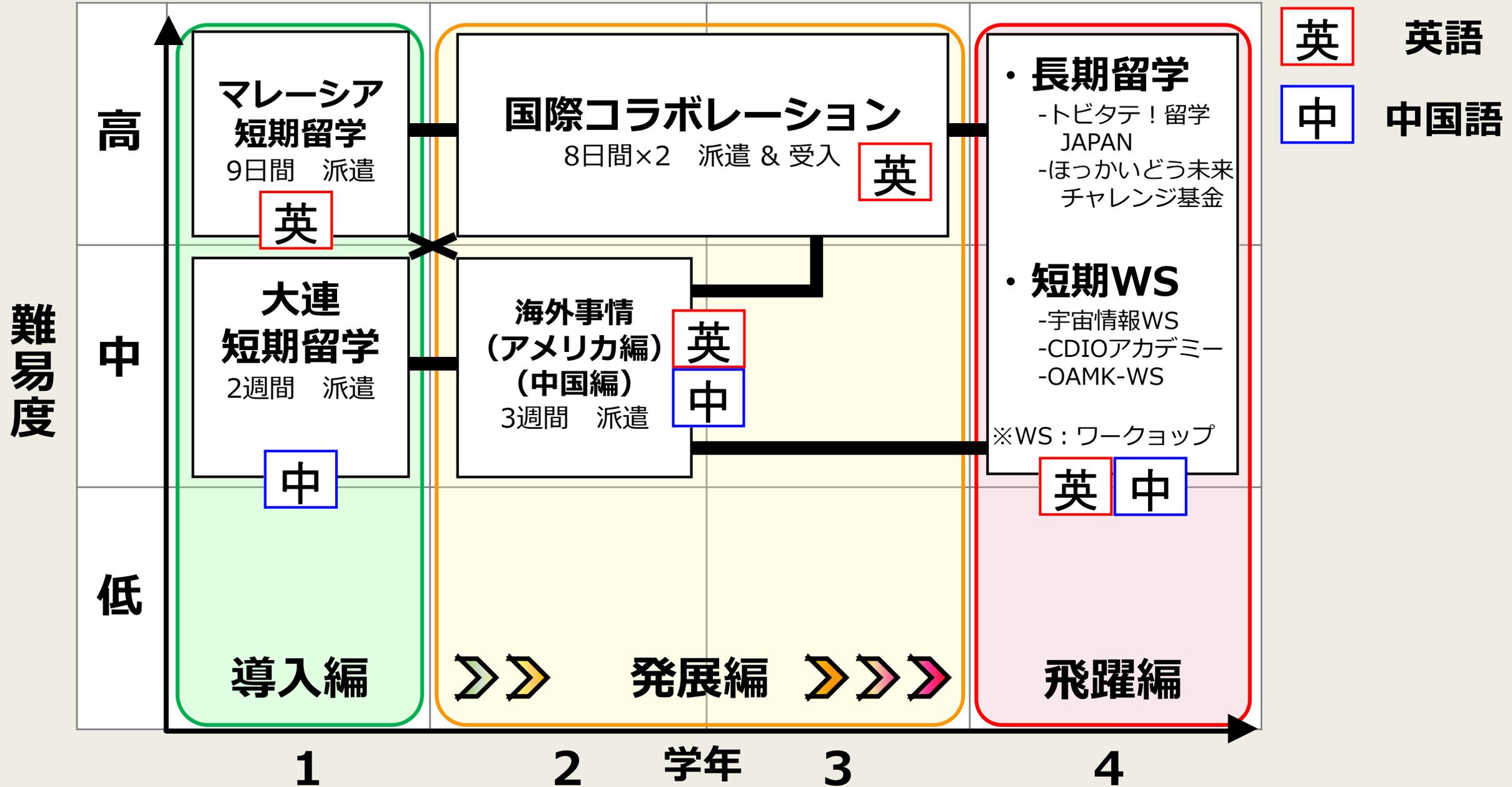
ディプロマポリシー		ア (主体性)	イ (IT情報技術)	ウ (国際感覚)	エ (コミュニケーション)	オ (問題発見・ 解決能力)	カ (生きるための 知恵)
グローバル 人材要素	要素Ⅰ (コミュニケーション)				○		
	要素Ⅱ (主体性/チャレンジ精神/柔軟性)	○					○
	要素Ⅲ (異文化理解/アイデンティティ)			○			

# 5. 各留学プログラムの区分け

I : コミュニケーション  
 II : 主体性/チャレンジ精神/柔軟性  
 III : 異文化理解/アイデンティティ

分類	参加可否 通信学生	プログラム名	使用言語	プログラム形態	体得が期待できるグローバル人材要素			次のステップ
					要素 I	要素 II	要素 III	
導入	-	マレーシア短期留学 <派遣 日本→海外>	英語	受動型 ※留学先大学の授業を受講	○		○	・国際コラボレーション ・海外事情（アメリカ編）
導入	○	大連短期留学 <派遣 日本→海外>	中国語	受動型 ※留学先大学の授業を受講	○		○	・国際コラボレーション ・海外事情（中国編）
発展	-	国際コラボレーション（タイ） <派遣&受入 日本⇔海外>	英語	能動型 ※タイ学生との共同ワークショップで自ら作品を制作	○	◎	○	・+αの留学体験
発展	○	海外事情（アメリカ編） <派遣 日本→海外>	英語	受動型 ※留学先大学の授業を受講	○	○	○	・国際コラボレーション ・+αの留学体験
発展	○	海外事情（中国編） <派遣 日本→海外>	中国語	受動型 ※留学先大学の授業を受講	○		○	・国際コラボレーション ・+αの留学体験

# 6. 国際交流推奨モデル



## 8. 学生へのインタビュー

実際の学生の声を聞いてみましょう。

## 9. 今後の展望

- 国際交流推奨モデルを学内で浸透させる
- 「発展編」プログラム参加者への新たな海外活動参加支援
- 「飛躍編」プログラムの開発